

はじめに

本報告書は、平成 11 年度から 3 年間の計画で始められた、行政対応特別研究「有機性資源の循環的利用システムの確立に関する研究」の一環として行われた、外食産業における生ごみ・食べ残し等に関するアンケート調査結果と実態調査の結果をとりまとめたものである。

このプロジェクト研究は、当初、主査を農業総合研究所長とし、農業総合研究所からは、農業構造部生産構造研究室及び環境経済研究室、農業研究センターの 4 研究室、さらに委託先（社）として食品需給研究センターも参画した共同研究であった。平成 13 年 4 月の行政機構改革により、農業総合研究所は農林水産政策研究所と改変されたが、引き続き行政対応特別研究の一つとして行われ、他の参画研究室、内容もほぼ変わりなくプロジェクトとして研究が進められた。

本資料では、まず外食産業における生ごみ、食べ残し等について、その量と処理実態を把握するために（社）日本フードサービスセンター協会への会員に対するアンケート調査として実施し、その結果を収録した。外食産業の実態は有機物の循環的利用をめざす本プロジェクト研究においては、重要な基礎的データを提供することになる。

また、（株）リンガーハット、（株）京王百貨店及び（株）パレスホテルについては、ヒヤリング調査を行ったので、その結果を収録した。

昨年度実施の市町村及び食品製造業における有機性廃棄物処理に関する調査同様、有機性廃棄物のリサイクル利用については、近年ますます関心が高まりつつあるが、十分とは言えないこの分野における研究蓄積に、本報告書がいくらかでも貢献することを期待したい。内容について忌憚のないご批判、ご助言をいただけるようお願いしたい。

本報告書の作成にあたっては、農林水産政策研究所、評価・食料政策部・合田素行環境評価研究室長、地域振興政策部・秦隆夫経営構造研究室長、（社）食品需給研究センター小野一弘主任研究員、宇野雅美研究員が担当した。

なお、本報告書をまとめるにあたっては、（社）日本フードサービスセンター協会及びその会員企業には多大のご尽力をいただき、また、ヒヤリング調査では、（株）リンガーハット、（株）京王百貨店および（株）パレスホテルに多大なご協力をいただいた。記して謝意を表する次第である。

平成 14 年 1 月

農林水産政策研究所